

01 染色補正



300年以上にわたる「しみぬき」の技

染色補正の起源は、約300年前と言われています。生産過程で発生する難点を吾々の先祖である調整係が手入れを施し、完成品として上納したと伝えられています。その技術は時代の変化に伴い研究開発され、現代もなお着物業界には欠かせない、「着物を直す」職業として受け継がれています。

霧吹き
濡れた部分と濡れていない箇所を
ぼかすための器具



競技概要 競技時間 10時間(1日目7時間/2日目3時間)

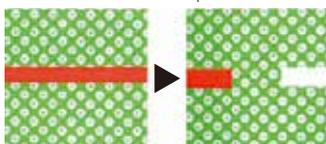
染色補正では、代表技術(着物のしみぬきや復元等)を集約した4つの課題で競技を行います。

第1課題(紋様消し作業) | 染色の復元



課題図 完成図

第3課題(小紋直し作業) | 抜染と柄の復元



課題図 完成図

右側3分の2の赤色を除去したのち
中央3分の1に小紋を復元します。

第2課題(汚れ落とし作業) | しみの除去

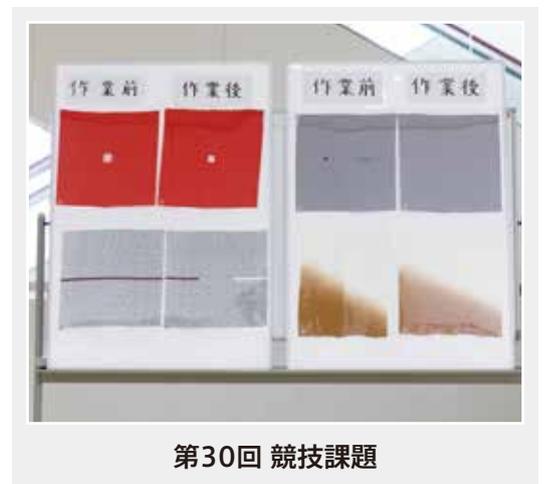


課題図 完成図

第4課題(ぼかし合わせ作業) | 染色の補正



課題図 完成図



第30回 競技課題

Point

染色補正に用いられる薬品や溶剤及び染料は多種多様で、汚点の種類に応じてそれぞれを使い分ける必要があります。また、調合比率や使い方によって仕上がりも大きく異なり、いかに布地を傷めず周囲と調和させるかが最大のポイントとなります。



平コテ
乾燥させるための道具



シミ抜き用ブラシ

